

参院選・兵庫選挙区で野党統一候補を実現しよう

野党各党に英断を求める賛同署名（団体用）

安倍政権が発足してから、12月で7年目に入ります。

「戦後政治の総決算」を掲げるアベ政治は、戦後の民主主義と平和主義、一人ひとりの人権と生き方を重んじる社会と国家のあり方を根底から覆し、軍事力を強化して「戦争のできる国」へ舵を切り替え、憲法9条の改憲をもくろむ一方、国民の生活面では格差社会を広げる経済政策を取り続けてきました。また、世界の潮流に背を向けて原発依存のエネルギー政策を取り続け、人口縮小社会への対応を怠り、将来の財政破綻を避ける政策を棚上げにして将来世代の不安を高めています。

このようなアベ政治の流れを変えるためには、国政選挙で野党が候補者を調整し、参院一人区や衆院小選挙区では“与野党一騎打ち”の選挙を市民と共同して取り組むことが必要です。2016年の参院選や2017年の衆院選では、国政選挙史上初めて市民と野党の共闘が実現し、野党統一候補が全国的に広がり成果を挙げましたが、与党改憲勢力の厚い壁を破れませんでした。

来年7月の参院選では、安倍長期政権が最後の任期でめざすアベ改憲の企てを止めるためにも、野党の議席を大幅に増やすことが不可欠です。一人区はもちろん複数区でも野党の競合を避け野党議席を確実に増やすための野党共闘を強化しなければなりません。

兵庫県の前回参院選では、定数が3に増えたにもかかわらず野党候補が共倒れし、参院選挙区のすべての議席を失いました。野党各党は一人区では候補者の一本化を確認していますが、兵庫のような複数区では各党が候補者を立てて競争する中で党勢を拡大し議席を伸ばすという方針を変えていません。これでは、過去の経緯や野党勢力の現状から兵庫では前回の悪夢が再現する懸念があります。

私たちは兵庫で確実に議席を奪還するには、野党統一候補を実現するしかないと考えています。政党として「党勢を拡大する」立場は理解するものの、兵庫の“特殊事情”を踏まえれば「議席を確実に確保する」ことを優先し、みんなが納得できる統一候補の実現に全力を挙げることを優先すべきです。こうした市民の率直な思いを野党各党は受けとめ、英断されることを求めます。

兵庫の市民は、野党統一候補を実現し、議席を奪還するために全力を挙げて行動し、支援します。

この署名は集約後、署名いただいた団体名を一覧表にまとめて、野党6党に提出します。
署名用紙の原本は連帯兵庫みなせんが保管し、他の用途には使用しません。 2018年12月

賛同団体署名欄

団体名	
代表者名	
連絡先 (住所)	〒
連絡先 (電話)	



連帯兵庫みなせん

（平和と立憲主義、いのちと暮らしを守る市民選挙・連帯兵庫）

〈連絡先〉 minasenhhyogo2016@gmail.com Tel: 078-691-4593(出口) fax:078-691-59

(署名用紙の送り先) 〒673-0845 明石市太寺4丁目9-17 連帯兵庫みなせん